




# 1

学習戦略の基本

3



## 正しい学習戦略とは

正しい学習戦略がなければ・・・

合格 (ゴール)

正しい学習戦略がないと合格への道筋がわからない・・・

現在 (スタート)

正しい学習戦略があると・・・!!

合格 (ゴール)

正しい学習戦略を設定することで最短距離で合格までいける

現在 (スタート)

4

## 正しい学習戦略とは



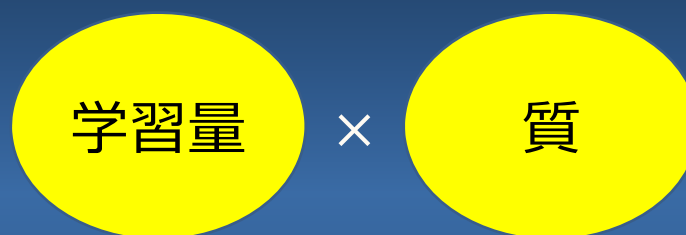
正しい学習戦略は旅をする上での正確な地図である

地図を持っていない  
地図が間違っていた

そうならないために、まずは正確な地図である学習戦略の立案が不可欠である。

5

## 正しい学習戦略の全体像



モチベーション

6

## まずは正しい原因分析を行う



### 【学習の量に関する分析】

- ・学習時間は「継続して、十分」確保できていたか

### 【学習の質に関する分析】

- ・「理解の程度」は合格するために、十分だったか
- ・わかったつもりになっていなかったか
- ・「暗記するポイント」を意識して学習できたか
- ・暗記したつもりになっていなかったか
- ・適時学習計画・学習方法の修正ができていたか

12月・8月と合格するために、原因分析をしてしっかりと対策を考え実行することが重要



# 2

学習量

## 12月短答に向けての学習時間の比較



	1日の 学習時間	週の 学習日数	週の 学習時間	ケース1との トータル時間差	ケース1との トータル日数差
ケース1	8時間	6日	48時間		
ケース2	10時間	6日	60時間	<b>312時間</b>	<b>39日</b>
ケース3	10時間	7日	70時間	<b>572時間</b>	<b>72日</b>
ケース4	12時間	7日	84時間	<b>936時間</b>	<b>117日</b>

- ・短答式本試験まで180日（26週）とみなしています。
- ・約6か月間（180日）でも、ケース1とケース4では117日分（4か月分）も学習量が異なってしまいます。
- ・本試験前日に、あと30日あれば、あと60日あればどれだけ成績が変わるかを想像すると、毎週どれだけ追い込んで学習できるかは合否に大きな影響を与えます。
- ・合格発表まで1か月休むとその差はさらに大きくなってしまいます。

9



# 3

## 学習の質

10

## 学習の質の大事な視点！



- わかった→できる→いつでもできる状態を目指す
- 理解と定着の関係性とバランス
- 重要性の判断のやり方
- 一つひとつの学習のやり方
- 適切な学習計画の立案方法
- 現状分析の仕方と学習計画の修正方法
- 科目別の学習目標
- 時期別の学習目標

効率的に本試験の点数を上げるかという目標から  
落とし込むことが大切

11



## 第2部

### 質の高い学習とは


12



# 1

理解と定着の関係性とバランス

13



## 学習のステップ

①わからない→  
②わかったつもり→③わかった→  
④できない→⑤できるつもり→⑥できる→  
⑦いつでもできるつもり→⑧いつでもできる

③わかった・⑥できる・⑧いつでもできる  
状態にすることが重要

14

## 理解と定着の関係



③**わかった** がインプットのための理解

⑥**できる** がアウトプットのための理解

⑧**いつでもできる** が定着

理解が土台（木の根・ビルの土台）で、  
理解の土台の上に、反復し定着（木の幹・ビルの建物）をすることが重要

15

## 理解不足の状態



②**わかったつもり** ⑤**できるつもり** の段階

この理解不足だと

- ・何度反復してもすぐに忘れてしまう
- ・ケアレスミスがなかなか減らない
- ・基本問題でも初見の問題に対応しづらい
- ・応用問題に対応しづらい
- ・新たな論点の理解により時間がかかる
- ・問題に答えていないという課題が起こりやすい

16



## 理解の理想



- 科目の大きな考え方から理解している
- 論点の大きな考え方を理解している
- 各論の理解を大きな考え方と繋げて理解している。
- 単純な具体例で理解している
- 答えを見ないで納得して問題が解ける

17

## 定着について



### ⑧ いつでもできる の段階

できる状態になっても定期的に複数回反復をしないといつでもできる状態にはならない。

また、②わかったつもり、⑤できるつものまま反復をしても、いつでもできる状態にはならない。

よって、正しい理解の後に必要な回数反復することが重要

18

## 定着のポイント



- ・自己テスト
- ・高速回転とじっくりのバランス
- ・答練の前日だけは高速回転で一回転

19



# 2

## 重要性の判断

20

## 重要性分析のメリット



過去の本試験の過去問分析に基づく、重要性に応じた学習をすることは、以下の2つのメリットがある

1. 勉強時間の大幅削減
2. 合格可能性の大幅上昇

21

## 過去問分析に基づく勉強戦略①



優先順位	具体的対策
第1位	<b>重要性Aの章の重要性A・B論点</b>
第2位	<b>重要性Bの章の重要性B論点</b>
第3位	重要性Aの章の重要性C論点
第4位	重要性Bの章の重要性C論点
第5位	重要性Cの章

22



## 過去問分析に基づく勉強戦略②

財務計算で高得点を獲得したい方・・・  
網羅的に学習し、復習の強弱をつける

財務計算で効率的に合格点を取りたい方・・・  
重要性の高い論点を優先的に学習する

23



## 過去問分析に基づく勉強戦略③

Aだけやろう、  
Cは全部やらない

という二元論ではなく、

正しい情報を知ったうえで、  
優先順位を間違えないこと。


24



# 3

一つひとつの学習のやり方

25



## 全ての行為に目的を設定する

- 講義を受ける目的？
- 質問する目的？
- テキストを復習する目的？
- テキストの読込を反復する目的？
- 基本問題集を解く目的？
- 基本問題集を反復する目的？
- 実践問題集を解く目的？
- 実践問題集を反復する目的？
- 答案練習を受ける目的？


26



# 4

適切な学習計画の立案

27



## 学習計画の立案に必要な項目

1. 講義を受講し理解を強化する
2. 講義の復習を行い理解を強化する
3. 疑問点を質問し、解決する
4. 答案練習で実践練習
5. 答練の復習・分析を行うことによって計画修正
6. 定期的に反復し定着を図る

28

## 学習計画の立案に大切な視点



- 1. から3. までのステップを、講義中、講義後の復習で必ずクリアする ③わかった⑥できる
- 勉強計画に6. の時間を十分に加味する ⑧いつでもできる
- 6. の時間は学習が進めば進むほど多くかかるという認識を強く持つ  
計画にゆとりを持つ、なるべく借金を作らない
- 1. 2. 3. の時間を繰り返さない  
(わかったつもり、できるつもりで進まない)

29



# 5

## 現状分析と計画修正の仕方

30

## 現状分析の仕方！



- 答案練習を必ず受験し、現状のやり方が正しいのか、復習量は適切かなどを必ず分析する（人はアウトプットしないと現状認識できない）
- 現状分析を行った結果、必要に応じて、講義の受け方、復習の仕方、質問頻度、反復頻度を修正する
- 毎回の答案練習でその時点での合格ラインを取り続ける意識を大切にする

31



# 6

## 時期別の学習目標

32



## 時期ごとの目標を設定！



- 9月末までの講義を受講している時期は、進んだ講義の復習を最優先しながら、定期的に過去の定着の時間を確保（特にA論点・B論点中心）
- 本番直前の2か月は、ひたすら定着作業
- 計算科目の定着には時間がかかるので、早期から反復する
- 理論科目の理解後の定着は直前2か月でも可能
- 論文対策は短答合格後

33



# 7

## 目標

34

## 手段と目的を混同しない！



- ・ ゴールから逆算した時期別の目標！
- ・ 理解・定着・重要性の見極めの最終目標！
- ・ 時間ではなく、やることをベースに計画を立てる！
- ・ ○○の教材を何回転すればいいですか？  
何時間勉強すればいいですか？  
は、すべて手段。  
すべて合格に必要な力を効率的に習得するために！

35



## 第3部

### CPAの強み

36

## CPAの9つの特徴



1. 理解重視のクオリティーの高い教材
2. 網羅性と重要性を両立したクオリティー高い教材
3. 理解重視のクオリティーの高い講義
4. 初学者向け講義と経験向け講義が見放題
5. 一人ひとりに合ったオリジナルカリキュラムの実現
6. クオリティーの高い個別フォロー制度
7. 自由に映像フォローが受けられるフリー受講システム
8. 専用自習室DVDブースが豊富に用意
9. 実力は講師が多数加入

37

## 水道橋校キャンペーン



1. お好きな教材 1冊無料プレゼント
2. 論文向け 無料学習ガイダンス
3. 短答向け 無料学習ガイダンス
4. 個別相談会毎日実施
5. 特待生試験開催
6. 上級総合講座申込特典
7. 上級総合講座申込割引

38

## 最後に



何か相談がある方は、遠慮なく講師に相談してください。

論点の質問、学習方法の相談、学習計画の立案、モチベーションの維持etc  
自分だけで悩むよりも相談した方が気付くこともあるので、遠慮なく相談してください！

合格を目指し、一日一日、最善を尽くしていきましょう！！